

一 最低賃金ハ各自本人現在ノ常備給多ク以テ之ル事

一 退職手当ヲ左記ノ通リ制定ス

志々年未滿ハ日給ノ拾日間

志々年以上志々年近ハ志々年ヲ増ス毎ニ日給ノ九日

志々年以上志々年近ハ志々年ヲ増ス毎ニ日給ノ九日

志々年以上志々年近ハ志々年ヲ増ス毎ニ日給ノ八日

拾々年以上志々年ヲ増ス毎ニ日給ノ七日間

一 定休日ハ第志第参日曜日

一 公傷ハ實状ニ照シ協議スル事

一 本人若シ本人ノ親権者ト雇主トノ協議ニテ決定スル事

一 本人社員ハ五々年ヲ以テ標準トシ見習期間終了ノモノハ日給金老齢入テテ給

ニ四年目ニ最低賃金貳月五拾日ノ列進スルモノトス参々年ニ見習期間

終了ノモノハ初給金老齢六拾五拾日ヲ示合毎年拾五拾日加給ニ五々年目

最低賃金貳月五拾日ノ列進スルモノトス

但シ技術優秀ト認めルモノハ特ニ規定年限以内ニ於テ最低賃金近引

上タル事ナルベシ

一 会社ノ除ハ人ユラ明ニ之ル事

一 ノーデーハ第一日曜ノ定休日ト振替ハ事

一 従業員ハ各組合ニ加入スル事ハ随時トス

一 昭和六年四月二十五日迄ノ日給ハ支附スル事

一 初年ニノ義務貯金ヲ明ニスル事

一 衛生設備ヲ改善スル事

右ノ通リ賛書ニ候也

以上

昭和六年四月二十五日

三 英製作所々主

神谷只四郎

関東合属者兼
労働組合代表

安平鹿一

同

小林範治

同 史部代表

佐藤新吉

同 従業員代表

小林榮作

同

福田栄吉